

平成31年3月20日
義務教育課

「学びをつなぐ 希望のバトン カリキュラム」の改訂について

1 改訂の趣旨

平成27年3月、幼児期と児童期の子どもの学びの連続性を保障し、「学びに向かう力」を育成するものとして、「5歳児が遊びを通して身につける内容」および「その内容とつながる1年生の学び」を明確にした接続カリキュラムを策定。

平成29年3月に告示された幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の改訂（改定）により、3歳以上の幼児教育に関する記載が共通化され、「幼児期において育みたい資質・能力」および「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示されたことを受け、その内容を踏まえた改訂版を策定する。

2 主な改訂内容

- ・ 3、4歳児のカリキュラムを追加
- ・ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）が育つプロセス（子どもの育ちのつながり）を提示
- ・ 子どもの学びを促す遊びを例示し、子どもの育ちや、どのように生活科等の教科に結びついていくのか、保育者・教師の支援例を具体的に提示
- ・ 互いの教育内容や子どもについて分かりあう「連携」と子どもの育ちを見通してつなげる「接続」のために必要な取組を具体的に提示

3 改訂版の概要

第1章 カリキュラムの考え方

幼稚園教育要領等の改訂（改定）のポイント

幼児教育から小学校教育への接続カリキュラム改訂のポイント

第2章 カリキュラムの使い方

第3章 10の姿が育つプロセス

第4章 遊びのプロセス

第5章 接続に向けた取組